



京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
令和7年度 後期

伝音セミナー

—日本の希少音楽資源にふれる—

「日本伝統音楽に触れるのは初めて…」という方も、お気軽に受講いただけます。

日本伝統音楽研究センターの教員や研究員が、SPレコード等に残された貴重な演奏音源などを紹介します。

聴講無料・申込不要／定員 各回50名*

*第5回はオンライン視聴講座のため定員はありません

第1回 2025年
12月18日(木)
14:45~16:15

国勢調査とレコード

講師 大西 秀紀
日本伝統音楽研究センター客員研究員

第2回 2026年
1月15日(木)
14:45~16:15

民俗芸能・民謡から見える
自然観

講師 荒木 真歩
日本伝統音楽研究センター特別研究員

第3回 2026年
2月12日(木)
14:45~16:15

古琴を通じた伝承知の境界を探る
現代教育環境への接続に向けて
(修士学位取得にかかる公開プレゼンテーション)

講師 方 芳
大学院音楽研究科修士課程日本音楽研究専攻2年

第4回 2026年
2月19日(木) 14:45~16:15

大津絵節を奏でる・つくる 幕末期寄席の再現への試み

講師 鈴木 堅弘 日本伝統音楽研究センター特別研究員
実演 常磐津 菊与志郎 常磐津節三味線方

第5回 オンライン 2026年 3月22日(日) 20:00~
3月29日(日) 20:00 配信

『仁智要録』『三五要録』を聴く
平安末期の箏と琵琶の音世界II

講師 田鍬 智志 日本伝統音楽研究センター准教授

各講座の内容詳細は裏面をご確認ください。

会場

京都市立芸術大学 伝音セミナールーム

京都市下京区下之町 57-1 (A棟1階)

- 地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車、JR京都駅中央口から徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- バス4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路 高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

- ◆ 構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場願います。
- ◆ ご来場方法や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課までご相談ください。ご希望に沿うよう可能な限り対応いたします。



企画 | 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター Web <https://rijtm.kcua.ac.jp/>

主催 | 京都市立芸術大学

問合せ先 | 京都市立芸術大学事務局 TEL 075-585-2006 (平日 午前8時30分~午後5時15分)

共創テラス・連携推進課 E-mail public@kcua.ac.jp

Web <https://kcua.ac.jp/>

KYOGEI
TERRACE

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

伝音セミナー

—日本の希少音楽資源にふれる—

第 **1** 回 2025年**12月18日(木)**
14:45~16:15

国勢調査とレコード

講師 **大西 秀紀** 日本伝統音楽研究センター客員研究員

令和7年は国勢調査の年でした。この調査は国の最も重要な統計調査ですが、当初は国民にとって全くなじみのないもので、そのため行政は浪花節、漫才、レビュー、流行歌、都々逸などの芸能を動員しPRに努めました。

今回は昭和5年に大阪で制作された「国調レコード」を中心に、国勢調査にまつわるレコードを紹介します。

第 **2** 回 2026年**1月15日(木)**
14:45~16:15

民俗芸能・民謡から見える自然観

講師 **荒木 真歩** 日本伝統音楽研究センター特別研究員

民俗芸能や民謡は、その土地で暮らす人々の生活に密着しておこなわれてきました。そのため、土地の自然が反映されている芸能や歌が多くあります。今回は屋久島と奄美大島を対象に、芸能や歌を通した人びとの自然観を映像や実演によってお伝えします。そのなかで歴史的な自然観だけではなく、今を生きる人びとが自然に対する考えを島の民謡を歌うことで表現しようとしている様子を現地調査にもとづいて紹介します。

第 **3** 回 2026年**2月12日(木)**
14:45~16:15

古琴を通じた伝承知の境界を探る 現代教育環境への接続に向けて

〈修士学位取得にかかる公開プレゼンテーション〉

講師 **方 芳** 大学院音楽研究科修士課程日本音楽研究専攻2年

本セミナーでは、伝統楽器「古琴」に焦点を当て、その演奏習得における伝承知の構造を考察します。師弟関係を基盤とする身体的・非言語的な学びに注目し、他の伝統楽器との比較を交えながら、「教えること」の多層的な在り方を探り、加えて、現代における教育環境との接続や、AI技術との関連性についても視野に入れて、今後の継承の可能性を考察してみます。

第 **4** 回 2026年**2月19日(木)**
14:45~16:15

大津絵節を奏でる・つくる 幕末期寄席の再現への試み

講師 **鈴木 堅弘** 日本伝統音楽研究センター特別研究員

実演 **常磐津 菊与志郎** 常磐津節三味線方

大津絵節は幕末から明治期にかけて東京や大阪で庶民に親しまれた俗謡です。昨年度の伝音セミナーでは、大津絵節が寄席の三味線唄として歌われていたことを歴史資料からお伝えしました。今回はその実践編として、寄席の大津絵節芸の再現と演奏を試みるワークショップ形式で行います。会場の皆さんから出していただいたいいくつかのお題（キーワード）を入れ、演奏者と講師がその場で作成した歌詞を大津絵節の節にのせ、歌謡を披露します。

第 **5** 回 **オンライン** 『仁智要録』『三五要録』を聴く
平安末期の箏と琵琶の音世界 II

講師 **田鍬 智志**

日本伝統音楽研究センター准教授

藤原師長が編纂した箏譜『仁智要録』と琵琶譜『三五要録』は、平安末期当時の雅楽伝承曲のほぼすべてを収載した金字塔的音楽史料。しかし、そこに記譜されている音楽がいかなるものか、こんにち知る人は皆無でしょう。

前回(令和3年度伝音セミナー)の続編となる今回は、講師が2019年暮から約3年半を費やし完成した「仁智&三五要録全曲録音(未公表)」のなかから、知られざる名曲をお聴きいただきます。加えて近年、講師が仁智・三五の演奏を採り入れ制作した映像作品も紹介します。

YouTube〈伝音チャンネル〉で動画公開します

配信期間▶ 2026年**3月22日(日) 20:00**
~**3月29日(日) 20:00**

<https://www.youtube.com/@kcuarijtm>



止むを得ない事情により公開日時を変更させていただく場合や、状況により予定より早く公開を終了させていただく場合がございます。(変更の際はウェブサイトの本イベント情報にてお知らせいたします。)あらかじめご了承ください。